

がつ ぎょうじよてい 1月の行事予定

| にちようび 日曜日 | げつようび 月曜日 | かようび 火曜日 | すいようび 水曜日 | もくようび 木曜日 | きんようび 金曜日 | とようび 土曜日 |
|---------------------------|--------------------------|---|---|-----------------------------------|---|-------------|
| | | | 1 元日 | 2 | 3 | 4 |
| 5 ・ふるさとウォーク (松柏公民館) | 6 ・仕事始め ・卓球 ・曲暮 | 7 ・子育て勉強会 ・フォークダンス ・卓球 ・スマイルキッズ | 8 ・子育て勉強会 ・曲暮 ・スマイルジュニア | 9 ・ふれあい喫茶 ・パソコン ・子ども英語教室 | 10 ・各種相談日 ・人権教育講演会 (福祉会館) ・卓球 | 11 ・曲暮 |
| 12 | 13 成人の日 | 14 ・子育て勉強会 ・フォークダンス ・卓球 ・スマイルキッズ | 15 ・第4回新転入権・ 同和教育研修会 ・子育て勉強会 ・曲暮 ・スマイルジュニア | 16 ・貯筋体操 ・パソコン ・子ども英語教室 | 17 ・卓球 | 18 ・曲暮 |
| 19 | 20 ・卓球 ・曲暮 | 21 ・三島地域人権・ 同和教育主任会 ・子育て勉強会 ・フォークダンス ・卓球 ・スマイルキッズ | 22 ・子育て勉強会 ・曲暮 ・スマイルジュニア | 23 ・貯筋体操 ・パソコン ・子ども英語教室 | 24 ・愛隣連隣保館長・ 指導職員研修会 ・卓球 | 25 ・曲暮 |
| 26 | 27 ・卓球 ・曲暮 | 28 ・子育て勉強会 ・フォークダンス ・卓球 ・スマイルキッズ | 29 ・子育て勉強会 ・曲暮 ・スマイルジュニア | 30 ・貯筋体操 ・パソコン ・子ども英語教室 | 31 ・卓球 | |

あさひぶんかかいかん

朝日文化会館

か い か かん

会館だより

だい 441号 令和2年1月号



じんけんたいさくきょうぎかい きょうさいじぎょう どうわもんだいけいはつこうえんかい ようす
【人権対策協議会との共催事業、同和問題啓発講演会の様子】

【お知らせ】

- 仕事納め・仕事始め 12月27日(金)・1月6日(月)
- ふるさとウォーク 1月5日(日)9時～、松柏公民館集合
- ふれあい喫茶(百円モーニング) 要予約 1月9日(木)9時30分～
- 各種相談日 1月10日(金)10時～
人権相談、生活相談、困っていること、何でも話に来てください。一緒に考えます。
- 人権教育講演会 1月10日(金)18時30分～、福祉会館4階多目的ホール
- 第4回新転入権・同和教育研修会 1月15日(水)15時～、土居文化会館
- 三島地域人権・同和教育主任会 1月21日(火)、朝日文化会館
- 愛隣連隣保館長・指導職員合同研修会 1月24日(金)、今治市しまなみ交流プラザ



新年あけまして、おめでとうございます。輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと存じます。平素より朝日文化会館の活動に際しまして、ご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

はじめに、宮内則人さんの一人芝居「明日へ！」の公演をご覧になった方も多いでしょう。PTAとして積極的に同和問題の解決に取り組んできた初老の男性が、いざ自分の娘の結婚となると素直に賛成することができなかった。娘は家に帰って来ない…。自分の人生における同和問題との関わりがよみがえってくるという話です。

このことから同和問題について、知識としては理解していても自分との関わりが生じてくると、理解とは異なった行動をとる人がいるという課題に向き合っていかなければならず、最終的に自分という個がどう関わっていくかが問われており、人権・同和問題についての学習が大切だと改めて思います。

朝日文化会館では、夏季休業中に三島地域の小中学校の全教職員が隣保館学習を行います。そして、一人の人間として同和問題とどう向き合っているか自分のことを語り合います。それは、自分の関わりが大切だと考えるからです。

熊本理抄さんの講演「部落問題から自己・他者・社会について考える」の中で、熊本さんは、わたし、わたし以外の他者、社会がわたしの尊厳・人権・存在を認めることが重要であると言っています。語れない社会、語らせない社会はみえないものになっている。これが差別である。正しいことを学び、自己を変え、他者との関係性を変える。そのために共に学び支え合う仲間が必要であると語っています。

私たちは人権・同和問題について、人として何ができているのでしょうか。まず、一番身近な家庭からその存在を認め、共に学んでいくことができているのでしょうか！身近な家庭から次への一歩へとつないでいてほしいです。

次に、平成から令和へと時代は移り変わっています。朝日文化会館は、前年度の活動の上新しい取り組みを試み、多くの人に館のことを知ってもらい、そして人と人とのつながりを深めてきました。下記のような内容です。

① 会館まつり（6月）

昨年は2日間の実施でしたが、1日目に人権のつどいや体験コーナーなど、イベントを集約して行うようにしました。多くの方が来館し、賑やかな催しとなりました。大人に混じって子どもたちや高校生ボランティアと一緒に活動する、生き生きとした姿が印象的でした。

② 夏季休業中の会館開放（中・高校生）

夏休み期間の平日、13時～17時、自主学習を行える場として会館の一室を開放しました。初めてのことで利用者が少なかったけれど、こういう形で会館を利用してもらえたことを嬉しく思います。

③ ふれあい喫茶（100円モーニング）

8月 流しそうめん

社会福祉協議会の助成事業を生かして屋外で実施。水で流れてくるそうめんは、涼しさも運んできました。（三島公民館より機材借用）

11月 餅つき体験

昨年度から始めた餅つきで、今年度は餅つき体験を行いました。（多くの公民館の協力）

④ 同和問題啓発講演会

講演は、「部落差別解消推進法 ～隠された歴史の中で～」 講師は、中尾由喜雄氏で人権対策協議会と共催で初めて行い、多くの方の参加がありました。

2016.12.部落差別解消推進法で部落差別の存在が明記されました。しかしそれまで、部落差別が現存していることは隠されていました。正しいことを知り、真実を見抜く目を養うことの大切さを再認識し、自分の生活を見直す機会となりました。また学ぶことの大切さを再認識しました。

今後も会館の活動を見直しながら、信頼関係を築き、人と人がつながっていける場所となり、そして、正しい理解と認識を深めていけるよう、会館職員一同、努めてまいります。本年も宜しくお願い申し上げます。